

ナギタキノ沢左俣

L五

一九八一年八月三〇日

丁

幕营地とした旧一三号国道の烏川橋から四五分程歩いてナギタキノ沢出合に到着。橋の下流側より沢に降りて、身仕度をする。

遊行を始めるとすぐ材木岩のような感じのナメが三〇分程続く。そして大平沢出合。ここで大平沢に入る。浅野・山田パーティと別れる。

小滝とナメが次々と現れる。そして旧国道の橋となる。橋の下をくぐりぬげると、沢は左へ曲がってゆく。少し行くとF1五分。右側に栗子不動明王と彫られた石碑がある。直瀑。滝の右側をブッシュ伝いに直登。すぐ上の二びもなんなくパス。

右岸に石垣が続いている。道路があるためだろう。F2二・五分、F3三びと続いて現れ、また旧国道へでる。今度は橋ではなく、トンネル状。ここを通り抜けると、すぐ二俣となった。

右俣に入るつもりだったが、左俣の方が水量も多い。右俣は下降に使うことにして、左俣へとルートをとる。

滝の連続となる。F4三・五分は右側をパス。その先に七びほどの滝が見えたと思ったら、何と三五びもあるこの沢最大の滝である。ここは左

岸を直登。

この上もF6一〇分、F7五分と続く。そしてさらにナメ滝の連続となる。

支沢を分けてF10を越える。水がなくなってきた。ヤブこぎに入る。

一〇分程でちょうど一一一・四びの三角点峰にでた。(記)

「タイム」 遊行開始(六・四五) ↓ 二俣(八・〇五) ↓ 一一一・四び三角点峰(九・二五)



ナギタキノ沢左俣

